

キャラクター名
鈴白

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ	ワークス	イヌ	カヴァー	年齢	性別
	キュマイラ					
オプション	覚醒	忘却	衝動	吸血	初期侵食率	180 %
出自	経験		邂逅			

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	196
肉体	6	1	0	3		10	行動値	28
感覚	0	0	0	6		6	(非装備時)	28
精神	0	0	0	6		6	戦闘移動	33
社会	2	0	0	2		4	全力移動	66

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃			RC			交渉		
回避	5		知覚	6		意志	6		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 動物	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
『恐れられるべき存在』	P	N			
『人と獣の間』	P	N			
『欠けた存在』	P	N			
『55番』	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	8	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
イージスの盾	3	3	オート	至近	自身	自動		
効果:	ガード時、ガード+lv							
完全獣化	3	6	マイナ	至近	自身	自動		
効果:	肉体判定D+lv+2 シーン中、素手以外のアイテム使用不可							
破壊の爪	4	3	マイナ	至近	自身	自動		
効果:	Lv×2+8 ガード1 素手変更							
軍神の守り	3	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	カバーリング							
ハンティングスタイル	5	1	マイナ	至近	自身	自動		
効果:	戦闘移動 エンゲージ無視 c lv回							
鋼の肉体	3	2	メジャ	至近	自身	自動		
効果:	lv+肉体 回復 暴走以外回復							
魔獣の咆哮	3	2	オート	視界	単体	自動		
効果:	対象の判定-D r1							
竜鱗	3	3	リア	至近	自身	自動		
効果:	組み合わせ不可 リアクションとして使用。装甲値+lv×10							
究極獣化	3		マイナ	至近	自身	自動		
効果:	ダメージをLvDし装甲+10							
アルゴスの眼	3							
効果:	《知覚》判定ダイス+Lv個							
鬼の一撃	3	2	メジャ	武器	-	対決		
効果:	ガードした対象にダメージ+lv×5							
獣の殺意	5							
効果:	対象のドッジダイス-Lv個							
獣の瞳	3	1	マイナ	至近	自身	自動		
効果:	メインプロセス中隠密貫通							

FHの“箱庭の狼”計画の被験体にして唯一の成功者。完成直前にUGNに介入され、最後の生体部品を取り混む前に捕獲された。計画の都合上課された実験により人間形態に戻ることは現状不可能とされている。現在、侵食率に、よって三つの形態を持ち合わせており、侵食率が低い順からイヌオオカミ、狂暴獣、??となっている。好きなのは、肉(食べる意味触る意味でも他の意味でも。つまりえっちなことは普通に好き)嫌いなものは、殺しに来るやつ 大事なものを奪いに来るやつ 得意なことは、生き延びること 頑張ること 苦手なことは、会話や説明 特定人物の血肉(押さえきれなくなるかもしれないから)

面倒事は厭わない行動力とあらゆる環境に適應できるバイタリティーを持ち合わせ、基本的に無口とまでは行かないが口数が少ない。記憶がない分感性に従い行動することが多い。関わったものは救おうとする善性はある、しかしもっとも大事な目的を定めた時は大を犠牲にーを救おうとする傲慢さも持ち合わせている。好きなものは、肉(食べる意味触る意味でも他の意味でも。つまりえっちなことは普通に好き)嫌いなものは、殺しに来るやつ 大事なものを奪いに来るやつ 得意なことは、生き延びること 頑張ること 苦手なことは、会話や説明 特定人物の血肉(押さえきれなくなるかもしれないから)

本名【グリム】または……
※RBではない”古代種” (採用しなくても良い) 『グリム』は記憶を失う前の名前。現在は55番気が付いたらそこに居た。それまでの記憶はなく、廃墟でただ一人、ベッドらしかった残骸の上で倒れ込んでいた。おぼつかない記憶のまま、外に出る。そこはFHの管理する森、何となくで力を使えたのでその力を使ってサバイバルをしていた。そんな感じで野生児的生活をしていると森の中、初めて自分以外の存在と出会う。はじめて出す言葉なのにすんなりと会話は出来た。彼が初めて接触した人物は第五次実験体の候補の一人。※彼はあずかり知らない事だが、実験の傾向として野生に近い精神性と特性を持っている方が良い結果を出している方だったので第三次からこの森を使い候補者たちにサバイバルをさせている。その結果実験体が減っても問題は無い。それらは適性が無い、元より価値の無い存在だったから

